

# 西眼科だより 第1号

## NISHI EYE HOSPITAL

西眼科病院 〒537-0025 大阪市東成区中道4-14-26 06-981-1132

### 院長より挨拶



当病院は、昭和9年城東区今福に先代西他石が開設した西眼科医院（現在も開院中）に端を発し、まだ眼科専門

門病院が全国で数えるほどしかなかった昭和28年に開設され、日本の眼科医療に先駆的な役割を果たしてきました。

現在、院長の西起史以下常勤医師8人、非常勤医師6人及び看護婦、検査員など総勢120人のスタッフが力を合わせて、外来及び入院の患者さんの治療・看護にあたっていきます。

当病院のモットーは、「高感度な眼科専門病院をめざす」

ことにあります。高感度な病院とは、患者さんの立場と要求に敏感であるという点で高感度であり、最高の学問水準の医療を実現するという点で高感度であり、病院組織を高度に機能させるという点で高感度である、そんな病院です。

患者さんの立場と要求に敏感です。当病院は「患者さんの求めに応

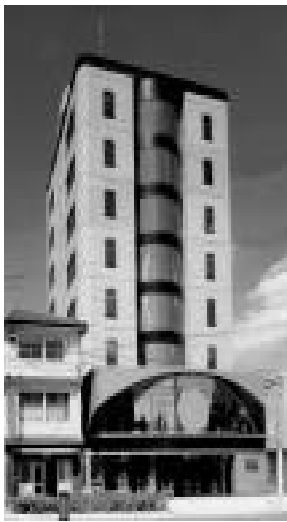
じて、満足のいく医療を提供すること」を第一目的として掲げています。そのもとで病院の全職員は常に患者さんの立場に立つて行動することを心がけています。

#### 最高の学問水準の医療を実現します

その上で、最高の学問水準に立つた医療技術を提供することを目指しています。最新の研究と機器に基づいて、眼内レンズをはじめ、網膜剥離、硝子体、角膜移植、緑内障など眼科領域全般にわたって、年間2000余の入院手術、ほぼ同数の外来手術、レーザー光凝固術を行っています。

#### 病院組織を高度に機能させています

患者さん本位の医療サービス、高水準の医療技術を病院全体として生かすために、人（全職員）と物（病院施設）が組織として適切



### 受付時

		月	火	水	木	金	土
午前	9時より12時迄 (初診11時30分迄)	●	●	●	●	●	●
午後	2時より4時30分迄 (初診4時迄)	●	●	●	●	●	●

\* 前回来院時から2カ月以上経過の方は、初診扱いとなります。

### 休診日

木曜、第1・3  
土曜日は、午後休診

日曜・祝日、  
第2・4・5土曜日は全日休診。



# 眼の病気の知識

## 白内障の話

### 白内障とは？

一般には、「しろそこひ」とか「こみそこひ」とか言われ、「ひとみ」(瞳孔)の奥にある透明な水晶体(カメラのレンズに相当するもの)が、白く濁ってくる病気です。レンズが濁ってきますので視力は少しずつ悪くなってきますが、充血とか痛みは全くありません。

### 白内障の種類

白内障には生まれつきのもので、外傷によるもの、糖尿病等によるもの、またその他の眼の病気に付随して起こるもの等いくつかの種類がありますが、なかでも一番多いのが老人性白内障で、老化現象として起こってきます。

### 白内障の主な症状

はじめは、

本や新聞を読むとき眼が疲れる。  
人の顔がボンヤリかすんで見える。

眼の中に蚊のようなものが飛んでいる感じがする。  
老眼の眼鏡をかけてもはっきり物が見えない。等の症状が現われてきます。

の

つぎに、視力が段々衰え、物がはっきり見えなくなり、更に進行すると、眼の前にかざした手の指の数もわからなくなってくる。

ついに、明るい、暗い、しか

わからなくなります。



進行速度は、人によってまちまちで急に進む場合もあり、また殆んど進行しない場合もあります。

### その治療は？

現在のところ確実に進行をとめる治療法はありませんが、進行を遅くする目薬を用います。又、進行し視力が悪くなっても、手術をし、適切なメガネ、コンタクトレンズ、眼内レンズを使えば、眼の奥の状態に応じて視力が回復します。



### 特に大切な早期診断と治療

統計的にみますと40才を過ぎて眼がかすみ始めたなら、一応「老人性白内障」の疑いがあります。瞳孔の後の水晶体が濁り始めるのですから、特に始めのうちは「しろつと目」では診断出来ません。又、白内障以外の病気がかすみ目になっている可



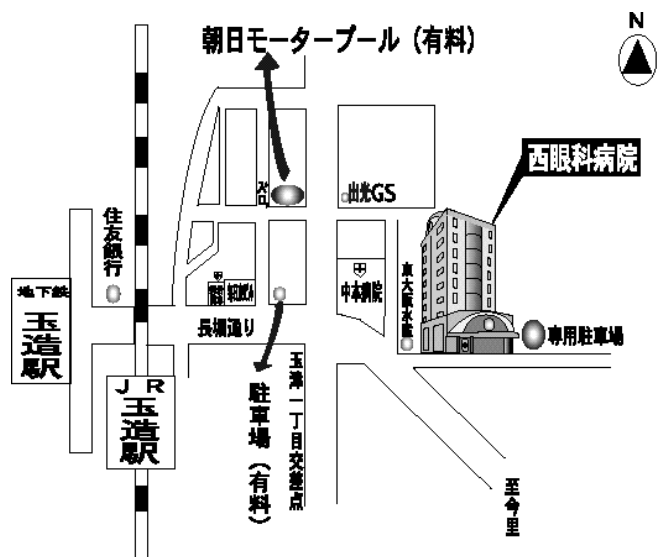
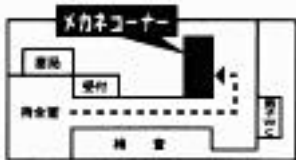
### メガネコーナーのご案内

安心してお使いいただけるメガネを信頼をもってお届けしています。デザインなどメガネのことなら何でもお気軽にご相談下さい。

### 営業時間

月・火・水・金 9時～5時迄  
木・土 9時～1時迄

第2・4・5土曜は休みです。



JR環状線：改札出て、真直ぐいき長堀通りを出て右へ200m  
地下鉄鶴見緑地線：3番出口より東へ徒歩5分